

工夫の城

乙たか^たかう^かため^め
守る^{まも}ため^めし



サクラ



と島区立

高松
三小
年 学校

市川
功



タケノコ

目次

- ① このテーマをえらんだ理由・・・P1
- ② 言周べる方ほう・・・P2
- ③ お城についてのお品目とよう・・・P3, P4
- ④ お城は、何のためにあるのか？・・・P5
 - ① 石垣について・・・P5, P6
 - 石垣のしゅるい・・・P7, P8
 - 石垣反りとなめの角心・・・P9, P10
 - 石はどてからきたか？・・・P11
 - 石はどてやっで運んだか？・・・P12
 - ② ここの工夫・・・P13, P14
 - ③ 刃を炙したバテ・・・P13
 - ④ ぼて間に、いて・・・P15
 - ⑤ 石サとし・・・P16
 - その他の工夫・・・P17
 - ⑥ やぐらについて・・・P18
 - おまけ・・・P19
- ⑤ 城主は、どこに住んでいたか？・・・P20
 - あのく真田丸について・・・P20, P21
 - 君は白か？黒か？お城の色・・・P22, P23
 - 江戸時代に入ってからのお城・・・P24
- ⑥ 城主のお城木目・・・P25
- ⑦ 言周べた本・ホームページのアドレス)・・・P26
 - さん考にしたしせつ名

① このテーマを選んだ理由

- 江戸は、二オウのいりるときから刀が大好きで、武士にあこがれてきました。
- 二年前に「きりぎりす」(いなほ山)に行き、きりぎりすがあり、江戸は「お城」ってすごいな、お城の人(お田信長)もこのけしきを見たら、お城で不思議なきもちになりました。お城のくおしいことは、分らなかったけれど「お城ってすごいな」と思っていました。
- 今年大がドラマの「直田丸」をみて、たかさんお城が出てくるものすごくきりぎりす味をもつようになりました。

これがこのテーマを選んだ理由です。

② 言周べる方ほう

● 図書館の本で ●

お城について自分の疑問にたいして行ったことが合っているかどうか言周べる。

言周べているうちに出たことも言周べる。

● 実さいに行。ておる ●

実さいにお城に行、てお目でたかめる。
お城にあるせつめい書きやパンフレットを言売んだり、
ガイドさんの言売しを聞く。
たく山 お城がある中で
今年はお城に行きました。

● インターネットで ●

図書館の本にはのってない資料を、言周べたいことをけんさくしてみる。

- 松本城
- 大垣城
- 二条城
- 大坂城
- 水戸各城

③ お城についてのき問とよそう

よそうのせし点: 〇△×)

き問① お城は何のためにあるのか?

よそう: 住むため? たたかうため?
(言周べたけっかは△でP5)

き問② 石土垣は何のためにあるか?

よそう: 外から人が入ってこばいたため?
(言周べたけっかは△でP5)

き問③ 石がきの反りがえりに意味はあるのか?

よそう: できが石がきをのほれないうにするため?
(言周べたけっかは△でP9)

き問④ 石をどうやってきたか?

よそう: 力でちれた? でせれでは刃か? おれえう(やあ)
ていほうでうった?
(言周べたけっかは×でP9)

き問⑤ 石土垣の石土垣の石はどこからとってきたか?

よそう: 山
(言周べたけっかは△でP11)

ぎ問⑥ お城の 高さで一番 高かったのと
一番低かったのは、りんいでのたてもの何かい
くらいか? ?

よえう: 一番 たかかったのは、5かいくらい。一番低い
のは、3かいくらい?

(言周べたけちかはXでP18) ?

ぎ問⑦ 本丸、二の丸、三のの丸、直田丸、〇の丸、
何?

よえう: たたかう所? ?

(言周べたけちかは△でP20)

ぎ問⑧ たたかう時城主はどこに行たか?

よえう: たたかうためのとくべつなへや?

(言周べたけちかは△でP20)

ぎ問⑨ 石はどうやってはこんだか?

よえう: 何人おの人があつまらして運んだ?
(言周べたけちかは△でP12)

?

(3) ^判切込入ハギ

石を入れる土易戸片に合わせてカエキれました。

石と石の間にはモサはありません。オダスハギよりも高くつむことができて大坂城やひめじ城ほどモサれで高くはくはのほれろにありませんでした。

〈つみ方〉…こしゆるい

(1) らんづみ

木置はそろえずどんとんつんでいくつみ方。すき間ができるのでどんとん小さい石を間につめます。

(2) 布づみ

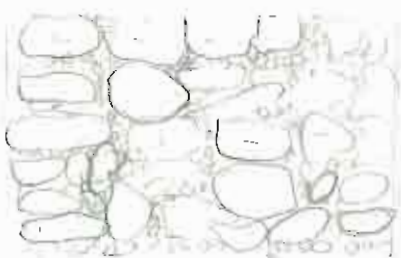
木置をきちとそろえきれいにつむやり方です。



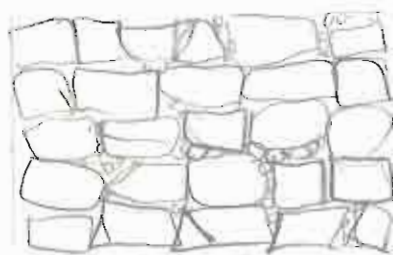
野づらんづみ



野づら布づみ



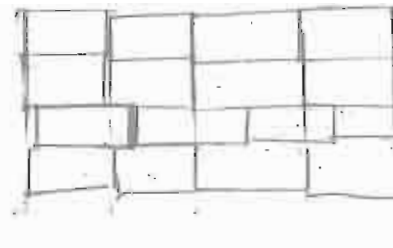
オダスハギらんづみ



オダスハギ布づみ



セキダスハギらんづみ



セキダスハギ布づみ

<石垣のしゅるい>



大垣城

ぼくは、

← 「打込ハギらんづみ
だとはんだん」

(8月15日父とつえい)



松本城

← 野子づらんづみ
ガイドさんによると、
門の木黄に一番大きい
石をおいて、城主の
たしめしたそうです

(8月11日母とつえい)



大土反城
ほくほ
「お入ハギ布づみ」
だとはんだん!

(8月17日母さつえい)



大土反城城内
ほくほ
「お入ハギ布づみ」
だとはんだん!

(8月17日母さつえい)

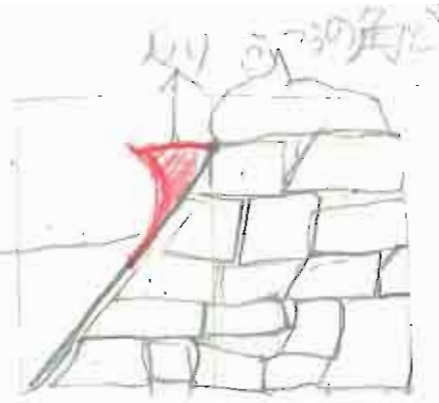
石土豆のつみ方を(P6)言周べたので「自分だりにいしたん
てきうま」にたつて、物知れ口「いしたん」が「しきり」

<石がきの反りとななめの角ど>

「石がきの反りの意味は、ついでには「石がき」から来
ないよ、もうこれは「たて物を大に」見せるためです。」

石がきのまぐらひまでは
うづらのななめの角どで、
と物から反りがはじまって
まぐらひは、田ますい直にどこうとた
たます。

(まぐらひに行くとた写真 反り(まぐらひ)
はP10)

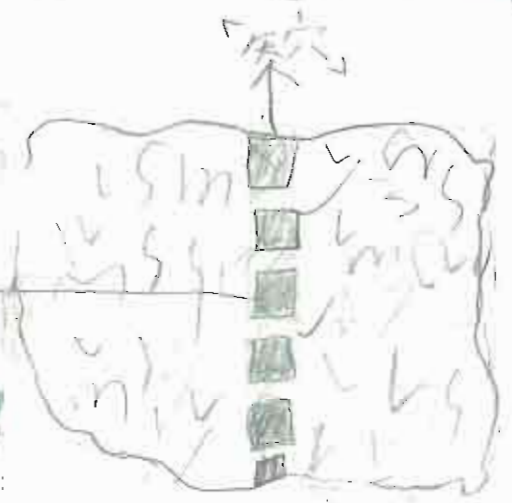


<石のセカリ方>

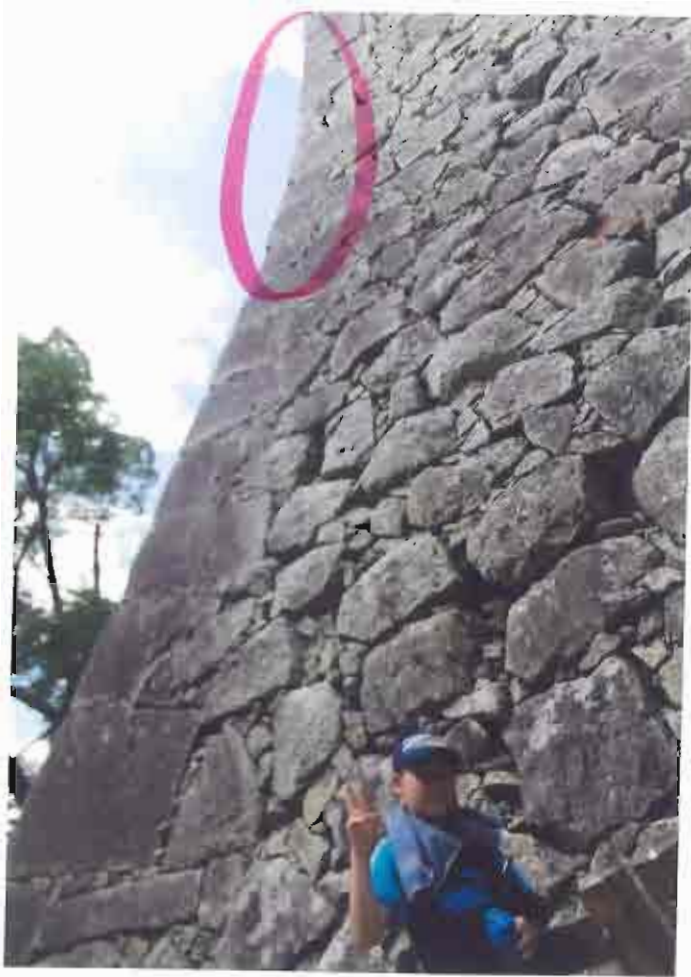
の「矢穴」といふ穴を)ミ(石を打かける道具)でほる。
ポイント、石がわる方向を見て穴をほる。

→ぼくは「ステーキ肉を切る時に、セカ方向を見るのと同じ
と思った。」

この「矢穴」に木や金で「セカ」
「矢」といふ穴を打たんで
石をセカります。それが石をセカる
セカリ方です。
ぼくは「セカる、てい、な、り、わ、る、人、だ、な、
と思った。」



美土川の石垣のえいの写真(姉と父成)



ほくは「えい」にくらぶたが
たのできまのほれないのが
と息いました。

(8月20日父とえい)



(8月20日自分で
えい)

<石はど^こからとってきたか?>
山と川から大きな岩や石をとってきた
ところが!

姫路城の石垣の石は、どうなる石や古いお石か?
石を使っていた理由は、ひつぎなたうた石垣
の石があつなうなからたからたそうてす。
ほくは、おはかの石までつかうなうてすごいお石ほ。
ど石がなからたな[!]すかの人もリサイクル名人だ
と思ひました。

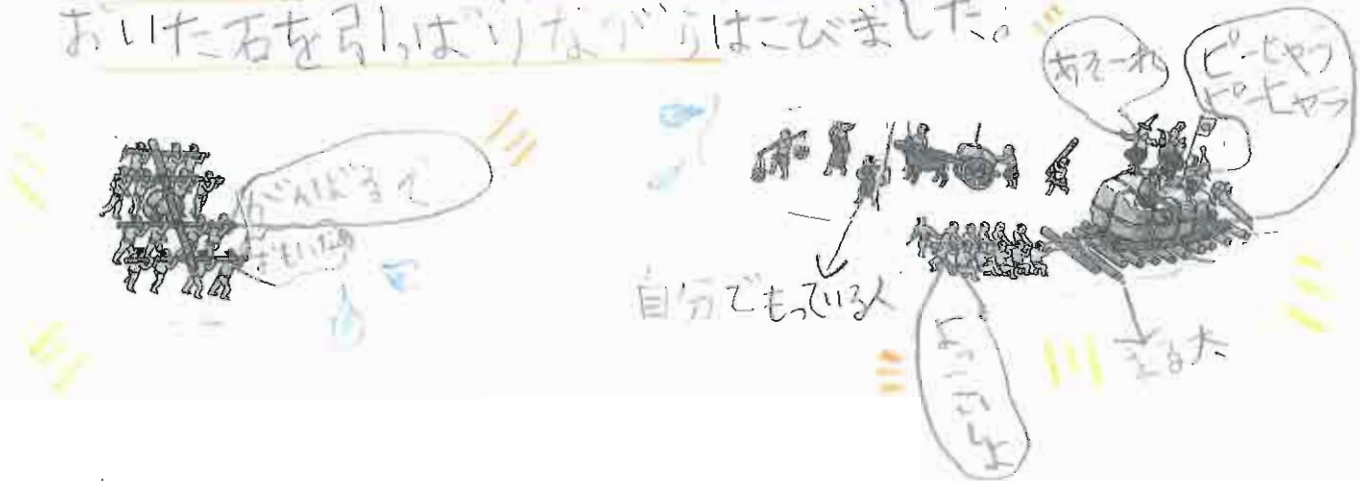
姫路各坊城



(8月20日母さつえい)

<石はどうやって運んだか？>

- 大きな石を七刀、たら台にのせてひもを引っぱり、海が干
やか原まで運びます。その後、台ごとイカダにのせて
きしから運ばれた海まで、舟台にひもがえられます。
- その時おもいのひもで引っぱり、きしがいのついた舟台を使
います。舟台で海や川をわたった石は、きしごもを引っぱり
あげられます。その後は人がせおたり何人か人がぼうにむ
すんでいしはこぼりぼる夫をお最匠各のよにしいこの上
においた石を引っぱりながらはこびました。

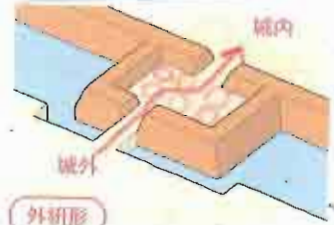


ほくは、おもがたたううた。でも丸太などを使
て工夫したんだな。と用いた。

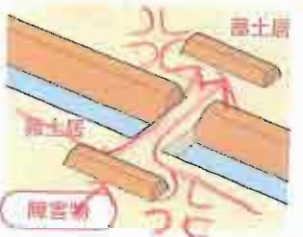
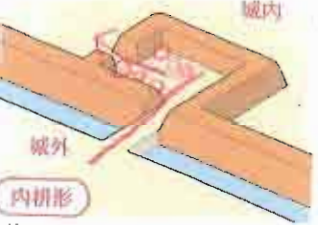
② コロについて

コロは「出入口のことです。城内はきをしん入せ
ないこと、しん入された場合すぐにやつけること」
が、城の守りで大七刀でした。コロはきかて
きかしくすぐに入れないように工夫されていまし
た。

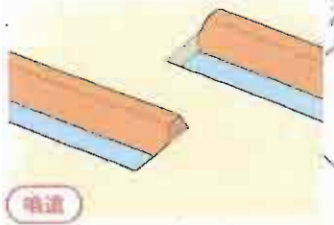
② 口の工夫 ※赤糸状で下の重さを



城外から入る口は、とてせまく、
 一どに多せいは入れません。
 入った「重さがた」になっていきは、
 下にたまってしまします。城外から城内に
 行くには、この「重さ」は、
 入れません。



しょうがい物があるにかなか入れません。



遠くから見たら、「一本」木に見えます。
 でも本当は、入口になっています。

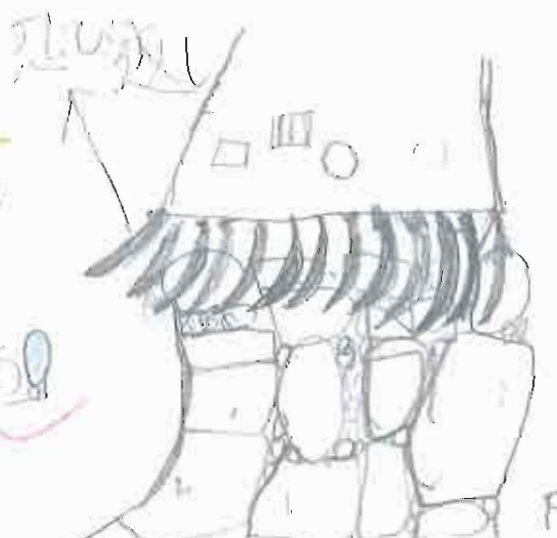


この「障壁」を作、て二箇所、に口を
 守る物です。

城外へ行くには、重さをたて入るのか、すかしたのだらう
 ね。口を作る人は、重さがたてました。
 (実際にいに行、て、た写真はP.14)

③ 丸び返しについて

かべの下や、ハレと屋根の間に
 くりつけたことが、土層のこと
 ですか、のぼ、て、重さを、
 ぶたぎます。
 重さでね、こよけのた、た、た、
 とぼくは、思、い、ま、した。



二日の工夫(実をいって行って一歩写真)



※赤糸線:城外
から来るときの車行き

※黒点線:城内
に入れる方向

←大坂城のてくら門
入てすぐの巨石。
これは内ます形
(8月17日父とつえり)



←姫路各城の
いしの門。
これも内ます形

(8月20日母とつえり)



←同じ姫路各城
同じ内ます形

(8月20日母とつえり)

④ はざ'間について

「はざ'間」は「かべ」につくられた穴で「矢はざ'間」としてはざ'間があります。城内から穴を使い矢や土ぼうちを使っておします。矢は、いろいろな、すしたかめ、いろいろなちやうすいほうにたいせめです。城内が穴は、穴が大きいときの重カキが見やすいです。一方城外(ときがわ)は、穴が小さい、城内の重カキが見にくいです。ぼくははじめ見た時は「ときをのぞくような物なのかな」と思て、のぞくだけではない、相手気づかれないようにきでやつけるよ、「いいな」と思いました。



大坂城 城内



(8月17日母とつえい)

女臣路城 城内



(8月20日父とつえい)



⑤ 石落とし

「石落としは「お城のたて物の中からかべを剥ぎ取って石を落してきくつけるしかけです。かべのまん中につくられたら、かどにつくられました。」



姫路各坊成の
石落とし
(かべのかど)

(8月20日自分で
つえい)

姫路各坊成の
たて物の中
うけを剥ぎ取って
石を落とす
(8月20日自分で
つえい)



「よくはーど石を落としてみたが、でも考えてみると、
鉄矢のよういきでいっていったらたかもしないな、
けりけりがある、ので走るとはいいおいが止まってしまうかも
しれない」と思った。

石の土也の工夫



※赤松城
を守るこつぎ

おぼりのちから
入ってきたとき
つけると目み
松本城
(8月1日自分で
えい)



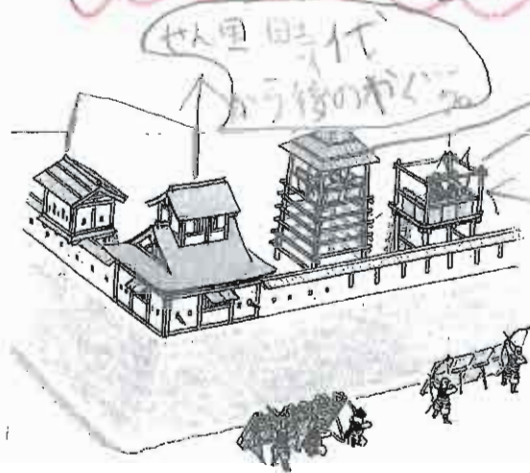
む者台があり
てきが、入ってきた
目時に高い所か
らこつぎできる
ようになっている。
姫屋冬城
(8月20日自分で
えい)

ほくは、さつと登りやすいためにかいた人を低くつてある
のがなほ思った。

⑥ やぐらについて

「やぐら」はもと、「高い戸所からものをおりたり、やをい
るため」につくられました。また、「矢をたくお入しておく
場所」もありました。はじめは、木を糸且んただだけ
でしたが、せん国時代から屋根やかべのあがるかんじにな
つくりになりました。

ぼくは、せん国時代からいそりがえはうになすのいくせがほ
げしいからかなと思いました。



はかしか、せん国時代にか
このやぐら。

ぼくは「おれ？」このやぐらは、ほんおど
りの時にてなな。と思いました。

⑦ 天守について

「天守は「お土城の中心部分」にあり、たまたかの時には、
司令どく命令を出す所」になりました。かべは、矢やい
ざんとおまないほうに、おあつなうてい。お本公本城のが
いどさんによる、お本城のかべのあつさは、40mもある
で、おそのほかに、城主の力をしめすために、天守の大や、見
事が大切だと考えられてきました。

天守で一番高かったお土城は、江戸城で、やく44.8mで
一番低い天守は、お公土城の、やく22.4mだそう。お
これ、今のたてもので、いらと、いたてのマンションと、一戸だ
のさだるです。

「いに、いは、低い天守より、高い天守の方が、お土城らし
くていいな。と思いました。

おまけ!



女車路各坊文の
刀などをおくたな
ほくは汗みだか
せん用のたなな
どあたのかな
と思った。

(8月28日土曜日)

あーつかれたあーい



女車路各坊文のかいだん
ものすごくきゆうてーだんーだん
がきゆうてほくもさ
あせいまけはむかひま、押し
もなく、いかにまをさいたの
ほくは、おしはおばはん
は大人、うがまを
かいだんをたて、落ちない
のかなと思った。

⑤ 「城主はどこに住んでいたか？」

城主は「ごてん」に住んでいました。ごてんではせいじもおなわれました。広くごうかに入られた物が「タタかた」です。ごてんは「曲あ」といってお城の土地を分けた申にありました。役割りや易戸所によって「本丸」「二の丸」「三の丸」と名づけられました。ちなみに「西の丸」は死ぬめの音かするのでつけたのだとです。ほは「すか」の人も面白いなだは丸「二」になるらしいです。

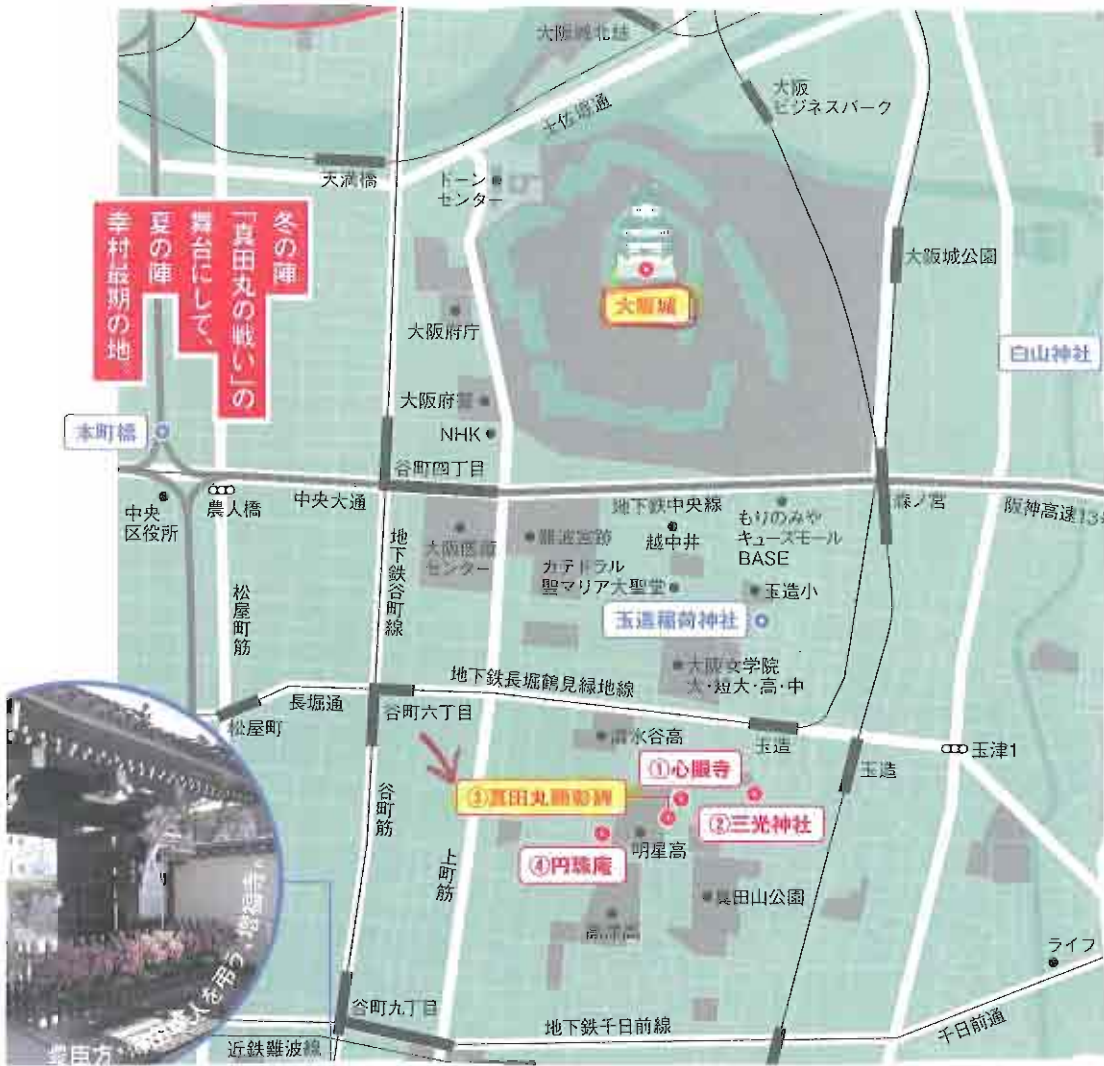
その他... つけられた「西の丸」など「本丸を守る」ためにつくられました。本丸は「お城の中」となる「うたうた」曲あで「天守ややぐらやごてん」などがありました。ただ「か」の時には「ご」の守りの土塁戸で「本丸」がつくられた。あ「り」で「城主は夫々の時本丸にいます。ぼくは「い」きなり「本丸」をすぐうては「いい」と「思」ったけれど「二の丸」があるのでうら「い」な「思」いました。

あの「真田丸」について

よく「真田丸」の犬がドラマを毎週「見」ていて「丸」が「二の丸」など「二」に「い」る「か」か「ある」か「思」い「言」う「た」ら「真田丸」は「大坂」城「カ」ラ「い」は「な」れ「た」曲あ「出」丸「大」につ「決」て「い」ました。出丸は「き」に「たい」て「ら」げ「き」の「場」戸所「で」お「城」を「守」る「場」戸所「で」した。

大坂「城」は「北」「東」「西」「川」が「ま」わ「り」ま「わ」って「い」ま「し」た「か」南「が」わ「た」い「川」が「な」か「た」の「で」お「ほ」り「を」ほ「た」出「丸」を「つ」く「り」ま「し」た「真田丸」が「つ」く「ら」れ「ま」した。真田「ゆ」き「木」すは「大坂」夏「の」川「で」は「真田丸」で「た」た「か」真田丸「が」な「く」な「た」後「の」大坂「夏」の「い」で「は」う「ち」に「い」ま「し」た。

よく「真田」ゆ「き」木「村」が「か」が「い」い「思」て「い」ます。
(実「に」真田丸「が」あ「る」た「易」戸「所」は「P21」)



(パンフレット 見所がいっぱい大阪各寺めぐり
出陣! 平成28年6月23日発行)

真田丸は、大坂城から少しはなれた曲角
(出丸)に作られていました。

番は「白か？黒か？坊城の色」

松本城に行った時のガイドさんが「松本城主、石川 数正がとよとみ(お)家来になったので、とよとみ家のざきんとして大反り成と同じ黒色にしたと教えてくれました。この黒はうるしです。

一方それに対し、とく川家お城は、白色でした。この、白は、しゅくりの色で、せきケ原のたたかひの後、父事をして、せぐため、か川は、それにかべて、とく川家お城めのかべでした。同じお城でも城主がどちらの家の味方につくか、よ、里か白かにかかりました。ぼくは、白と黒は反対の色で見たため、もたつかっているように感じました。



←とよとみ(お)家(里のお坊城)の味方をした、石川 数正のお城、松本城

(8月11日母とつえい)

とく川家お城(白のお城)の二番目のむすめ、お姫とけ、こんた、池田てる正文のお城、お城、お城、お城(8月20日父とつえい)





←大坂夏の陣後に建てられたとく川家の大坂城。
(白のお城)

石垣から天守のてっぺんまで44m。

(8月17日父せつえい)

とよとみ家の大坂城は、大坂夏の陣でやけてしまいました。色は黒だったといわれています。

石垣から天守までの高さは、30m。

「江戸時代に入ってからのお城」

江戸時代に入ってからのお城(二条城)は、
ただかため守るためよりも、金色のいじなどご
かしに城主の力をしめすことと一番に考えてつくられて
いるようにかんじました。

ぼくの考えは「江戸時代」は平和なので、
せん国時代のようにただかため守るための工夫が
いかなかったのではないかと思いました。

ぼくが好きなのは「せん国時代のお城」です。
理由はいろいろな工夫が、あつて面白いけれど、
ぼくは、たまたま、うっかり、つくりな
い、と思ふからです。

二条城



(8月17日母とつえい)

⑥ ① まとめ

私はこのテーマを言周べてみて一番分かったことはお友達が
守るためだからお友達の味でいてくれるということ。
なのでマイクを
「工夫の仕方」にたまたからため守るため～
にしました。

(2) 感想

やってみたらなと思うことは「言周べて楽しいな！」
と思ったことと、実際にやってみてすごいな！
なことです。大へんだったことば、言周べたないう
をまとめようことです。
糸冬あってみてがよかったな！と思いました。

言問べた本

本の名前	出版社年	図書館名	本を載せた
鳥かみ国でみる日本の城	PHP 2006年	と島区立 池ふく図書館	PHP
写真と絵でつなぐ 日本の城・城合戦	西東社 2016年	と島区立 高松小学校	小木口田 やすらね
竹中半平のゴキウ さん日本おもしろ39	ポプラ社 2014年	と島区立 中興図書館	カオ米 こうえう
とく川家やす が人物良官	小・学舎 2011年	自伝	小木口田 てつお

ホームページのアドレス

http://guide.travel.co.jp/howto/8/
www.geocities.jp/pappakun12/saguru/ishigaki/ishigaki1.htm

さん考にしたしせつ名

- ・木公本坊城
- ・大土垣坊城
- ・二条坊城
- ・大坂坊城
- ・姫路坊城

